

第21回たじみ子ども会議「意見書」
けんとうけっかほうこくしょ
検討結果報告書



令和2年3月

多治見市

ていあん
提案：イベントの実現について

- (1) わたし たちがたじみを盛り上げるイベントを考えたので、イベントに関係する団体に協力してくれるよう働きかけをしてほしい。
- (2) あき・ふゆのイベントを実現するために支援してほしい。
- (3) こどもが参加するイベントをつくる時は、私たちも話し合いの場に参加させてほしい。

し かんが たいおう
市の考え・対応

みなさんからの意見をもち、皆さんの考えたイベントが実現できるよう支援します。

(1)について、今回提案のあった「クリスマススタンプラリー」や「なんでも大会～自分の出たい部門に出よう！～」のイベントが実現できるように、市内の似たようなイベントを実施している団体へ子どもスタッフの皆さんが活動できるスペースを確保できるよう働きかけました。

また、(2)について、協力してくださる団体と皆さんの間を仲介し、イベントの実現を支援します。その中で、イベント実現させるためにはどんなことを考えなければならないのか、どんな手順で進めていくのかを学ぶことも大切なことです。

(3)については、イベントの打合せの会議を行うときが平日の日中であることが多く、皆さんの学校に行っている時間です。イベントに参加してみて、思ったことや直した方がいいと思うことを教えてくれると嬉しいです。次のイベントを考える際に皆さんの意見をとり入れていきたいと思えます。

多治見を盛り上げたいと皆さんが提案してくれたイベントが実現できるよう多治見市としては、皆さんのサポートをしていきます。

じんけんか
(くらし人権課)

経過報告

イベントを開催するための事前学習として、11月24日（日）の第8回子どもスタッフ会議において、毎年たくさんのイベントを企画運営する多治見市観光協会の職員から、イベント開催における一連の流れや準備、注意すべきことなどを教えていただきました。

「なんでも大会～自分の出たい部門に出よう！～」のイベントについては、地球村にご協力をいただき、10月27日（日）地球村「秋祭り」内において、スペースを借りて、イベントを開催しました。輪投げやボーリングの得点を競う得点部門と謎解きクイズラリーのかかった時間を競うスピード部門の2部門を用意し、当日、親子連れも含め84人に楽しんでもらうことができました。



「クリスマススタンプラリーin多治見」のイベントについては、本町オリベストリートの「織部なでしこ会」の皆さんにご協力いただき、「春のなでしこまつり」のスタンプラリーへの参加とたじみ子ども会議クイズコーナーの場を設けることとなりました。

3月1日に子どもスタッフが参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、当日の子どもスタッフの参加は中止となり、くらし人権課職員が代わりにたじみ子ども会議クイズイベントを実施しました。

イベントを開催するためには、主催者は今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止や自然災害などによる「中止」を決断しなくてはならないこともあります。来場者の安全を第一に考えるということも学びました。

